

# 予算委員会

## 委員一覧（45名）

委員長	築瀬 進（民主）	自見 庄三郎（民主）	木村 仁（自民）
理事	大島 九州男（民主）	芝 博一（民主）	小泉 昭男（自民）
理事	辻 泰弘（民主）	下田 敦子（民主）	佐藤 正久（自民）
理事	平野 達男（民主）	鈴木 陽悦（民主）	世耕 弘成（自民）
理事	藤末 健三（民主）	谷岡 郁子（民主）	橋本 聖子（自民）
理事	牧山 ひろえ（民主）	外山 斎（民主）	林 芳正（自民）
理事	川口 順子（自民）	友近 聡朗（民主）	牧野 たかお（自民）
理事	西田 昌司（自民）	円 より子（民主）	森 まさこ（自民）
理事	舛添 要一（自民）	山根 隆治（民主）	山本 一太（自民）
理事	弘友 和夫（公明）	吉川 沙織（民主）	若林 正俊（自民）
	植松 恵美子（民主）	米長 晴信（民主）	草川 昭三（公明）
	梅村 聡（民主）	蓮 舫（民主）	澤 雄二（公明）
	尾立 源幸（民主）	荒井 広幸（自民）	山本 博司（公明）
	小林 正夫（民主）	泉 信也（自民）	大門 実紀史（共産）
	今野 東（民主）	加納 時男（自民）	近藤 正道（社民）

（22.1.26 現在）

## （1）審議概観

第174回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十一年度補正予算2案（第2号、特第2号）及び平成二十二年総予算3案であり、いずれも可決した。なお、本委員会に付託された請願はなかった。

### 【予算の審査】

**平成二十一年度補正予算** 平成二十一年度補正予算2案（第2号、特第2号）は、1月18日国会に提出され、1月28日に成立した。

予算委員会では、衆議院からの送付の後、1月26日、財務大臣から補正予算2案の趣旨説明を聴取し、同日から質疑が行われ、28日、討論の後、可決された。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず、政治姿勢について、「総理の政策運

営の基本理念は何か。国民のための構造改革を進める決意はどうか」との質疑があり、これに対し、鳩山内閣総理大臣より、「過去の日本における政治経済の反省の中から、利益ばかりを追求するのではなく、雇用、医療、教育等を中心に据えた、人間を大事にする幸福追求社会を創り上げていきたい。大胆な発想の転換と暖かい改革が求められており、こうした経済社会を実現していくことが、我々に課せられた使命と考えている」旨の答弁が行われた。

また、経済財政問題について、「第1次補正予算の執行停止と財政国会中心主義との関係はどうか。新成長戦略の決定がなぜ予算編成より遅れたのか。今後の財政再建にどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、鳩山内閣総理大臣及び関係各大臣より、「歳出予算は支出の上限を定め、

その支出権限を内閣に付与するもので、予算を全て使い切る義務を負っているわけではない。不要不急と考えられるものについて執行停止を行ったが、最終的には、今回の第2次補正予算により減額が決定されるものであり、憲法の趣旨に沿った処理が行われているものと認識している。新成長戦略については、現在の経済情勢の下、予算の年内編成が極めて重要と考え、予算編成より成長戦略の決定が遅れることとなった。しかし、昨年来、「緊急雇用対策」「緊急経済対策」を策定し、その中にも既に成長戦略の考え方は盛り込まれており、新年度予算にも相当程度、反映されている。財政再建については、様々な議論を踏まえ、今年前半に、中長期的な歳入見込み、歳出の骨格等を盛り込んだ中期財政フレームを作成していくこととしている。その際、中長期の財政規律については、成長戦略を踏まえ、各国の事例も参考にしながら、公的債務残高の対GDP比の安定的縮減など、財政再建目標を検討していく所存である」旨の答弁が行われた。

このほか、政治とカネの問題、普天間基地移設問題、防災に対する基本認識とハイチ大地震への支援、地球環境問題、雇用対策、幼保一体化、郵政民営化問題、統合医療の推進、事業仕分けの在り方等について質疑が行われた。

**平成二十二年度総予算** 平成二十二年度総予算3案は、1月22日国会に提出され、3月24日に成立した。

予算委員会では、3月3日、財務大臣より趣旨説明を聴取した後、同日より質疑に入り、10日には政治姿勢一般に関する集中

審議を、12日には経済・財政に関する集中審議を、18日には社会保障・雇用等に関する集中審議を、23日には外交・防衛に関する集中審議を、また、16日には公聴会、19日及び23日には関係委員会に審査を委嘱し、24日には締めくくり質疑を行い、討論の後、賛成多数をもって可決した。なお、予備審査中の2月18日及び19日の2日間、福島県及び栃木県に委員を派遣して現地調査を行った。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず、政治姿勢について、「政権交代から半年が経過したが、政治主導を貫く決意はどうか」との質疑があり、これに対し、鳩山内閣総理大臣より、「官僚主導の政治体制を大きく変え、政治家自らが意思決定に力強くかかわっていくことが必要であり、政治主導の確立を図るための法律を用意しているところである。行政を刷新する会議や国家ビジョンを作成する組織を創り上げていくほか、政治任用を促進するなど、政治主導をさらに進めてまいりたい」旨の答弁が行われた。

次に、経済問題について、「デフレ脱却に向け、どう取り組むのか。新成長戦略の基本的な考え方は何か」との質疑があり、これに対し、鳩山内閣総理大臣及び関係各大臣並びに日本銀行総裁より、「デフレ脱却には、需給ギャップを埋めることが必要であり、二十一年度第2次補正予算に続き、二十二年度予算でも、雇用と需要を生み出す施策に重点を置いて予算を編成した。日本銀行においても、低金利を維持し、金融緩和を続けるなど物価と経済の安定に努めており、政府と日銀が一体となってデフレ脱却に向け全力を挙げていく所存である。

新成長戦略については、これからの経済政策は、公共事業中心の第1の道ではなく、また、デフレ状態でも経済が効率化さえすればよいという第2の道でもない、雇用と需要を拡大する第3の道を進めていく必要がある。もとより、供給を無視するのではなく、介護、医療、保育といった潜在的な需要がある部分の供給を重視するなど、予算配分を含めて政策運営を変えていこうと考えている」旨の答弁が行われた。

また、財政問題について、「平成二十二年度予算の特徴は何か。今後、事業仕分けの第2弾にどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、鳩山内閣総理大臣及び関係各大臣より、「二十二年度予算では、コンクリートから人へという理念の下、公共事業費を大幅に減額する一方、社会保障費や文教及び科学振興費を増額するなど、メリ張りを付け、大胆な資源配分の変更ができたと考えている。リーマン・ショックにより税収が大幅に落ち込む中、景気対策とマニフェストの実現を図る一方、マーケットの信認が得られるよう、国債発行額は約44兆円に抑え、財政規律も踏まえた予

算となっている。また、事業仕分けは、税金の使われ方、事業の必要性・有効性等について不断の見直しを行っていく手段であるとともに、マニフェストを実現していく上で、歳出のムダを削減する大きな役割の1つを担うものと考えている。今後、独立行政法人や公益法人を対象とした事業仕分けの第2弾を考えており、独法や公益法人等の実態等を把握し、どういった制度が望ましいのかを検討するなど、ゼロベースでの見直しに全力を注いでまいりたい」旨の答弁が行われた。

このほか、政治とカネの問題、日米密約問題、普天間基地移設問題、自衛隊の位置付け、報償費問題、税制改革、公共事業の在り方、郵政民営化の見直し、地方の行財政改革、医療・介護の拡充、子育て支援策、年金記録問題、雇用対策、被爆者支援策、農業の戸別所得補償、中小企業対策、高校の無償化、学校の耐震化、スポーツ・文化の振興、地球温暖化対策、チリ大地震による津波被害対策等について質疑が行われた。

## (2) 委員会経過

○平成22年1月26日(火) (第1回)

— 総括質疑 —

- 理事の補欠選任を行った。
  - 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
  - 政府参考人の出席を求めることを決定した。
  - 平成二十一年度一般会計補正予算(第2号)(衆議院送付)  
平成二十一年度特別会計補正予算(特第2号)  
(衆議院送付)
- 以上両案について菅財務大臣から趣旨説明を

聴いた後、鳩山内閣総理大臣、前原国務大臣、菅国務大臣、岡田外務大臣、長妻厚生労働大臣、仙谷国務大臣、平野内閣官房長官、原口国務大臣、亀井国務大臣、福島内閣府特命担当大臣、千葉法務大臣、川端国務大臣、中井内閣府特命担当大臣、北澤防衛大臣、小沢環境大臣、直嶋経済産業大臣、大串財務大臣政務官、小川総務大臣政務官、階総務大臣政務官、佐々木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

舛添要一君（自民）、※林芳正君（自民）、  
※西田昌司君（自民）、※森まさこ君（自  
民）、※荒井広幸君（自民）、辻泰弘君（民  
主） ※関連質疑

○平成22年1月27日（水）（第2回）

— 総括質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十一年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）  
平成二十一年度特別会計補正予算（特第2号）  
（衆議院送付）

以上両案について鳩山内閣総理大臣、岡田外務大臣、原口国務大臣、菅国務大臣、長妻厚生労働大臣、仙谷国務大臣、直嶋経済産業大臣、赤松農林水産大臣、川端文部科学大臣、亀井国務大臣、前原国土交通大臣、小沢環境大臣、千葉法務大臣、平野内閣官房長官、北澤防衛大臣、福島内閣府特命担当大臣、野田財務副大臣及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

※加藤敏幸君（民主）、※林久美子君（民主）、※森田高君（民主）、※富岡由紀夫君（民主）、辻泰弘君（民主）、山口那津男君（公明）、大門実紀史君（共産）、近藤正道君（社民） ※関連質疑

○平成22年1月28日（木）（第3回）

— 締めくくり質疑 —

- 平成二十一年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）  
平成二十一年度特別会計補正予算（特第2号）  
（衆議院送付）

以上両案について鳩山内閣総理大臣、長妻厚生労働大臣、平野内閣官房長官、岡田外務大臣、福島内閣府特命担当大臣、仙谷国務大臣、亀井国務大臣、小沢環境大臣、原口総務大臣、前原国土交通大臣、菅財務大臣、長安国土交通大臣政務官、足立厚生労働大臣政務官、高井文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

山根隆治君（民主）、山本一太君（自民）、  
※世耕弘成君（自民）、弘友和夫君（公明）、

井上哲士君（共産）、山内徳信君（社民）

※関連質疑

（平成二十一年度第2次補正予算）

賛成会派 民主、公明、社民

反対会派 自民、共産

- 平成二十二年度総予算審査のため委員派遣を行うことを決定した。

○平成22年3月3日（水）（第4回）

— 基本的質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅財務大臣から趣旨説明を聴いた後、鳩山内閣総理大臣、直嶋経済産業大臣、長妻厚生労働大臣、仙谷国務大臣、枝野内閣府特命担当大臣、菅国務大臣、福島内閣府特命担当大臣、前原国土交通大臣、平野内閣官房長官、岡田外務大臣、北澤防衛大臣、川端文部科学大臣、赤松農林水産大臣、亀井国務大臣、古川内閣府副大臣、辻元国土交通副大臣、榎葉防衛副大臣、大串財務大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

林芳正君（自民）、※西田昌司君（自民）、  
※脇雅史君（自民）、※義家弘介君（自民）、  
※大江康弘君（自民）、平野達男君（民主）

※関連質疑

○平成22年3月4日（木）（第5回）

— 基本的質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、菅財務大臣、枝野内閣府特命担当大臣、赤松農林水産大臣、直嶋経済産業大臣、川端文部科学大臣、長妻厚生労働大臣、亀井国務大臣、前原国土交通大臣、原口総務大臣、小沢環境大臣、福島内閣府特命担当大臣、仙谷国務大臣、中

井国務大臣、岡田外務大臣及び峰崎財務副大臣に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

※高嶋良充君（民主）、※櫻井充君（民主）、  
※芝博一君（民主）、※自見庄三郎君（民主）、平野達男君（民主）、白浜一良君（公明）、※木庭健太郎君（公明）、※谷合正明君（公明）、小池晃君（共産）、近藤正道君（社民） ※関連質疑

○平成22年3月5日（金）（第6回）

— 一般質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、菅財務大臣、亀井国務大臣、福島内閣府特命担当大臣、北澤防衛大臣、平野内閣官房長官、枝野内閣府特命担当大臣、長妻厚生労働大臣、小沢環境大臣、直嶋経済産業大臣、川端文部科学大臣、原口総務大臣、赤松農林水産大臣、仙谷国務大臣、鈴木文部科学副大臣、福山外務副大臣、細川厚生労働副大臣、松下経済産業副大臣、峰崎財務副大臣、足立厚生労働大臣政務官、長安国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大島九州男君（民主）、※牧山ひろえ君（民主）、佐藤正久君（自民）、衛藤晟一君（自民）、※加納時男君（自民）、澤雄二君（公明）、紙智子君（共産）、山内徳信君（社民）

※関連質疑

○平成22年3月8日（月）（第7回）

— 一般質疑 —

- 派遣委員から報告を聴いた。
- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅国務大臣、仙谷国務大臣、川端文部科学大臣、枝野内閣府特命担当大臣、前原国土交通大臣、長妻厚生労働大臣、福島内閣府特命担当大臣、平野内閣官房長官、千

葉法務大臣、原口総務大臣、小沢環境大臣、岡田外務大臣、直嶋経済産業大臣、赤松農林水産大臣、峰崎財務副大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

谷岡郁子君（民主）、※植松恵美子君（民主）、西島英利君（自民）、古川俊治君（自民）、※丸川珠代君（自民）、加藤修一君（公明）、山下芳生君（共産）、近藤正道君（社民） ※関連質疑

○平成22年3月9日（火）（第8回）

— 一般質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について長妻厚生労働大臣、川端文部科学大臣、菅財務大臣、平野内閣官房長官、岡田外務大臣、北澤防衛大臣、前原国務大臣、亀井国務大臣、原口総務大臣、小沢環境大臣、枝野内閣府特命担当大臣、赤松農林水産大臣、仙谷国務大臣、渡辺総務副大臣、峰崎財務副大臣、大島内閣府副大臣、山井厚生労働大臣政務官、高橋経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

吉川沙織君（民主）、※喜納昌吉君（民主）、草川昭三君（公明）、荒井広幸君（自民）、石井みどり君（自民）、※山田俊男君（自民）、仁比聡平君（共産）、又市征治君（社民） ※関連質疑

- 平成二十二年度総予算審査のため公聴会開会承認要求書を提出することを決定した。

○平成22年3月10日（水）（第9回）

— 集中審議（政治姿勢一般） —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、原口総務大臣、亀井内閣府特命担当大臣、菅財務大臣、枝野内閣府特命担当大臣、直嶋経済産業大臣、峰崎財務副大臣、増子経済産業副大臣、

加藤法務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤末健三君（民主）、※尾立源幸君（民主）、  
西田昌司君（自民）、※森まさこ君（自民）、  
西田実仁君（公明）、井上哲士君（共産）、  
近藤正道君（社民） ※関連質疑

#### ○平成22年3月11日（木）（第10回）

— 一般質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について菅財務大臣、長妻厚生労働大臣、仙谷国務大臣、川端文部科学大臣、前原国務大臣、平野内閣官房長官、北澤防衛大臣、岡田外務大臣、直嶋経済産業大臣、亀井内閣府特命担当大臣、古川内閣府副大臣、鈴木文部科学副大臣、峰崎財務副大臣、足立厚生労働大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官、大串財務大臣政務官及び津村内閣府大臣政務官に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

梅村聡君（民主）、※友近聡朗君（民主）、  
島尻安伊子君（自民）、※秋元司君（自民）、  
佐藤信秋君（自民） ※関連質疑

#### ○平成22年3月12日（金）（第11回）

— 集中審議（経済・財政）・一般質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、菅国務大臣、亀井国務大臣、直嶋経済産業大臣、枝野内閣府特命担当大臣、前原国土交通大臣、赤松農林水産大臣、原口総務大臣、長妻厚生労働大臣、福島内閣府特命担当大臣、北澤防衛大臣、千葉法務大臣、川端文部科学大臣、小沢環境大臣、中井内閣府特命担当大臣、松野内閣官房副長官、大塚内閣府副大臣、峰崎財務副大臣、高橋経済産業大臣政務官、三日月国土交通大臣政務官、政府参考人、参考人

株式会社日本政策投資銀行代表取締役社長室伏稔君及び日本銀行総裁白川方明君に対し質疑を行った。

- ・集中審議（経済・財政）

〔質疑者〕

円より子君（民主）、※大久保勉君（民主）、  
舛添要一君（自民）、※野村哲郎君（自民）、  
※世耕弘成君（自民）、谷合正明君（公明）、  
大門実紀史君（共産）、近藤正道君（社民）

※関連質疑

- ・一般質疑

〔質疑者〕

佐藤正久君（自民）、弘友和夫君（公明）、  
大門実紀史君（共産）、澁上貞雄君（社民）

※関連質疑

#### ○平成22年3月15日（月）（第12回）

— 一般質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について中井国務大臣、岡田外務大臣、直嶋経済産業大臣、長妻厚生労働大臣、枝野内閣府特命担当大臣、原口総務大臣、菅国務大臣、小沢環境大臣、平野内閣官房長官、川端国務大臣、福島内閣府特命担当大臣、赤松農林水産大臣、前原国土交通大臣、北澤防衛大臣、古川内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山根隆治君（民主）、※鈴木陽悦君（民主）、  
草川昭三君（公明）、泉信也君（自民）、若  
林正俊君（自民）、小池晃君（共産）、山内  
徳信君（社民） ※関連質疑

#### ○平成22年3月16日（火）（公聴会 第1回）

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

〔公述人〕

早稲田大学教授 榊原英資君

東京大学総括プロジェクト機構・知的資産  
経営・総括寄付講座の特任教授 小川紘一  
君

内閣府総合科学技術会議議員 白石隆君

帝京大学法学部教授 志方俊之君

中央大学教授 山田昌弘君

J A東京青壮年組織協議会顧問 加藤篤司  
君

- ・公述人（榊原英資君、小川紘一君）に対する  
質疑（財政・経済）

〔質疑者〕

大島九州男君（民主）、荒井広幸君（自民）、  
加藤修一君（公明）、山下芳生君（共産）、  
近藤正道君（社民）

- ・公述人（白石隆君、志方俊之君）に対する質  
疑（外交・安全保障）

〔質疑者〕

牧山ひろえ君（民主）、佐藤正久君（自民）、  
草川昭三君（公明）、山下芳生君（共産）、  
近藤正道君（社民）

- ・公述人（山田昌弘君、加藤篤司君）に対する  
質疑（社会保障・国民生活）

〔質疑者〕

下田敦子君（民主）、木村仁君（自民）、澤  
雄二君（公明）、大門実紀史君（共産）

#### ○平成22年3月17日(水) (第13回)

— 一般質疑 —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送  
付）

以上3案について内閣委員会、総務委員会、  
法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員  
会、文教科学委員会、厚生労働委員会、農林  
水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員  
会及び環境委員会については3月19日（本会  
議散会后）の1日間、沖縄及び北方問題に関  
する特別委員会、政府開発援助等に関する特  
別委員会及び消費者問題に関する特別委員会  
については3月23日午前の半日間、当該委員  
会の所管に係る部分の審査を委嘱することを  
決定した。

以上3案について直嶋経済産業大臣、菅財務

大臣、長妻厚生労働大臣、原口総務大臣、仙  
谷国務大臣、川端文部科学大臣、枝野内閣府  
特命担当大臣、平野内閣官房長官、福島内閣  
府特命担当大臣、北澤防衛大臣、岡田外務大  
臣、峰崎財務副大臣、榛葉防衛副大臣、福山  
外務副大臣、馬淵国土交通副大臣及び政府参  
考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

下田敦子君（民主）、牧野たかお君（自民）、  
荒井広幸君（自民）、山下栄一君（公明）、  
紙智子君（共産）、渊上貞雄君（社民）

#### ○平成22年3月18日(木) (第14回)

— 集中審議（社会保障・雇用等） —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送  
付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、菅国務  
大臣、長妻厚生労働大臣、川端文部科学大臣、  
原口総務大臣、前原国土交通大臣及び政府参  
考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

津田弥太郎君（民主）、※水岡俊一君（民  
主）、尾辻秀久君（自民）、※牧野たかお君  
（自民）、※義家弘介君（自民）、荒木清寛  
君（公明）、※鰐淵洋子君（公明）、山下芳  
生君（共産）、近藤正道君（社民）

※関連質疑

#### ○平成22年3月23日(火) (第15回)

— 集中審議（外交・防衛） —

- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送  
付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、北澤防  
衛大臣、平野内閣官房長官、岡田外務大臣、  
福島内閣府特命担当大臣、小沢環境大臣、川  
端文部科学大臣、直嶋経済産業大臣、菅財務  
大臣、千葉法務大臣、長島防衛大臣政務官及  
び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川口順子君（自民）、※山本一太君（自民）、  
※佐藤正久君（自民）、浜田昌良君（公明）、

小林正夫君（民主）、※喜納昌吉君（民主）、  
仁比聡平君（共産）、山内徳信君（社民）

※関連質疑

○平成22年3月24日（水）（第16回）

— 締めくくり質疑 —

- 各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会議録に掲載することに決定した。
- 平成二十二年度一般会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度特別会計予算（衆議院送付）  
平成二十二年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について鳩山内閣総理大臣、菅財務大臣、亀井国務大臣、小沢環境大臣、岡田外務大臣、福島内閣府特命担当大臣、原口総務大臣、直嶋経済産業大臣、川端文部科学大臣、赤松農林水産大臣及び福山外務副大臣に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

辻泰弘君（民主）、舛添要一君（自民）、  
※川口順子君（自民）、加藤修一君（公明）、  
井上哲士君（共産）、近藤正道君（社民）

※関連質疑

（平成二十二年度総予算）

賛成会派 民主、社民

反対会派 自民、公明、共産

○平成22年4月28日（水）（第17回）

- 理事の補欠選任を行った。

## 委員派遣

---

○平成22年2月18日（木）、19日（金）

- 平成二十二年度総予算の審査に資するため

〔派遣地〕

福島県、栃木県

〔派遣委員〕

築瀬進君（民主）、大島九州男君（民主）、  
辻泰弘君（民主）、平野達男君（民主）、  
牧山ひろえ君（民主）、川口順子君（自民）、  
西田昌司君（自民）、舛添要一君（自民）、  
弘友和夫君（公明）、梅村聡君（民主）、  
今野東君（民主）、佐藤正久君（自民）、  
森まさこ君（自民）、大門実紀史君（共産）